



関西支部若手企画委員会主催 「大阪産業技術研究所見学会 & セミナー」報告

2024年12月20日（金）、本会関西支部若手企画委員会主催の「大阪産業技術研究所見学会 & セミナー」が大阪産業技術研究所（ORIST）森之宮センターで開催されました。今回の企画は、若手企画委員の交流と知識の向上を目的とするもので、委員12名での開催となりました。

初めに、大阪産業技術研究所の施設見学を大橋博之氏（同研究所）の案内で行いました。バイオ試料などの網羅的解析が可能な質量分析装置や、微生物の大量培養用のジャーファメンタ、洗剤の洗浄力試験装置など実験室の見学をしました。また、各部屋の前には研究成果のポスターが掲示されており、興味深く拝見しました。その後は、材料の異物分析が可能なX線光電子分光分析装置やプラスチックの射出成型装置、屋外環境を人工的に再現し、製品の耐候性試験を短時間でを行うことが可能なキセノンウェザーメーターなどを見学し、幅広い用途に対応した機器が設置されていることが印象的でした。

見学会の後は、2題のセミナーを聴講しました。まずは、スタートアップ企業であるマイクロバイオフィクトリー株式会社代表取締役の清水雅士様より、「科学技術の社会実装を目指して」というタイトルでご講演いただき、ORISTとの共同研究によるシキミ酸経路の強化技術を用いた、化粧品素材や工業用材料などのさまざまな用途に利用可能な化合物の合成生物学的生産法の開発や、染料の回収技術によるジーンズなどの廃棄衣料品からのリサイクルインジゴ事業など、同社のバイオリファイナー事業をご紹介いただきました。スタートアップ企業ならではのスピード感を活かして、競争より協創の精神で新たなイノベーションの創出に挑戦される中での苦労話もお聞かせいただきました。

続いて、ORISTの山内朝夫様からは「ORISTと企業の連携の例の紹介」というタイトルでご講演いただき、レタスなどの野菜に含まれるルテインとタンパク質との相互作用機構の解明を通じた、私たちの身近にあるコンビニのパンや麺の食感の改良事例や、羽化後のセミ表皮の硬化メカニズムを担うキノン架橋の研究からヘアケア製品の開発へ結びついた事例をご紹介いただきました。

見学会とセミナーを振り返って、ORISTでは先進的な試験研究装置に加え、幅広い分野に応用可能な研究成果とその研究成果で上手く企業と連携したいと考える研究者の方が在籍しており、産官学が連携した関西発のイノベーションの創出に寄与するプラットフォームであると改めて感じました。

関西支部若手企画委員会では今後もイノベーションの創出に繋がる企画を実施し、皆様と一緒に関西を盛り上げていきたいと思っております。今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

（関西支部若手企画委員会 宍倉竜樹）



見学会の様子



セミナーの様子